

東京センチュリーの概要

ポートフォリオの変遷と事業概要

セグメント資産残高の変遷

6.1兆円

21%

8%

49%

2009年度の合併以来、収益性の高いオートモビリティ・スペシャルティ・国際事業分野の比率を拡大

2.1兆円

81%

16%

2008年度末
(合併直前の旧2社合算値)

2024年度末

事業概要および業績(2024年度実績)^{*} * ROAはセグメント資産純利益率

情報通信機器などあらゆる分野の設備投資に対応した最適な金融・サービスを提供

当期純利益 228億円 セグメント資産残高 1兆2,750億円 ROA 1.8%

主要サービス

- 情報通信機器および製造設備などのリース・割賦・各種ファイナンス
- ITソリューション
- サブスクリプション、パートナー企業との共創事業

特長・強み

- リースビジネスにおける多様なソリューションサービス
- 有力なパートナー企業との共創ビジネス

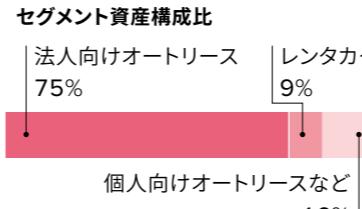
数字で見る事業分野

- 2万社以上の顧客社数



業界トップクラスの車両管理台数を持ち
広範なオートサービスを提供

当期純利益 177億円 セグメント資産残高 5,008億円 ROA 3.6%



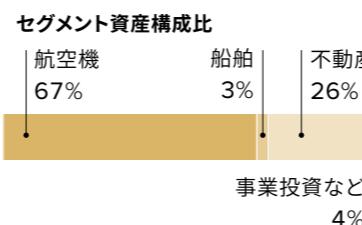
- オートリース・レンタカーなどのフルラインナップによる総合オートサービス
- 有力なパートナー企業との協業によるEVなどの次世代関連ビジネス

- 車両管理台数: 73万台以上
- レンタカー営業拠点: 国内504カ所、海外(ハワイ、グアム)
- 法人才オートリース提携整備工場数: 約16,000工場



多様なプロダクトにおいて高度な専門性をもとに
ユニークな事業性ビジネスを展開

当期純利益 329億円 セグメント資産残高 2兆9,729億円 ROA 1.1%



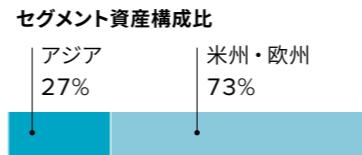
- 専門性の高いアセットを軸とした事業展開
- 業界トップクラスのパートナー企業との協業による競争力の高い金融・サービス

- 航空機リース子会社・ACGの事業規模: 保有・管理機体数は325機
- と業界トップクラス、45カ国超・約85社のエアラインへサービス提供



北米、アジアを中心に世界30カ国以上の
グローバルネットワークでリース・オート事業を展開

当期純利益 163億円 セグメント資産残高 9,772億円 ROA 1.8%



- グローバルネットワークを活用した多彩な金融・サービス
- 米国IT機器リース会社のCSIにおけるFMVリース・ITADサービス
- 生成AIなどでマーケット成長が見込まれるデータセンター(DC)事業

- 北米・欧州・アジアを中心に世界30カ国以上の国と地域でサービスを提供



太陽光による発電事業をはじめとした
再生可能エネルギー事業を国内有数の規模で展開

当期純利益 1億円 セグメント資産残高 2,852億円 ROA 0.0%

- 太陽光・バイオマス発電などを主とした再生可能エネルギー事業
- 蓄電池事業
- 太陽光発電所のアセットマネジメント事業
- 二国間クレジット事業(JCM)

- 国内屈指の規模で太陽光発電所(メガソーラー)を保有・運営
- パートナー企業との協業による環境ビジネスのバリューチェーンの構築

- 稼働済み太陽光発電所: 253カ所
- 再生可能エネルギー発電容量: 1,079MW (当社グループ全体)